

貧困研究会

第28回定例研究会 のおしらせ

貧困とメンタルヘルス問題

「貧困研究会」（日本学術会議協力学術研究団体）は、さまざまな領域における貧困に関する調査・研究を行い、その成果を公開するとともに、国内外の研究者相互の交流と協力の促進を行うことを目的として、2007年12月に設立した学会です。

代 表 布川 日佐史（法政大学）

副代表 五石 敬路（大阪市立大学）

第28回定例研究会では、立教大学海外招へい研究員として来日されているヒューストン大学大学院社会福祉研究科のロビン・ギアリング（Robin Gearing）さんをお呼びして、貧困問題とメンタルヘルス問題についてご報告いただきます。

ロビン・ギアリングさんは、深刻な精神的な病を持つ青年やその家族の精神保健施策の効果を改善するための青年期の精神保健、関連サービス提供、サービスの利用の仕方に関わる精神保健のあり方について研究を行ってきました。生活保護利用世帯の自殺率や精神障害の罹患の高さは日本でも知られています。そこで、貧困問題とメンタルヘルスの問題についてどのような関係性があるのか、またどのような取り組みがあるのかなどについてロビン・ギアリングさんの研究を通して学ぶ機会としたいと思います。皆さんの参加をお待ちしています。

日 時 2017年12月15日(金)

英語通訳あり

18:15~20:15（受付開始17:45~）

報 告 者 ロビン・ギアリングさん

ヒューストン大学大学院 社会福祉研究科 准教授

立教大学招へい研究員

会 場 立教大学池袋キャンパス

12号館2階 会議室（池袋駅から徒歩約8分）

※参加費無料

※20名程度の会議室のため、参加される場合、事前に木下までご連絡ください。

木下武徳（立教大学コミュニティ福祉学部）：t-kinoshita@rikkyo.ac.jp

貧困研究会

E-mail：admin@hinkonken.org HP：<http://hinkonken.org/>